

学年 第2学年

単元名 3章「傷害の防止」

1 単元について

【単元観】

小学校では、交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止、すり傷や鼻出血などの簡単な手当などを学習してきている。

中学校では、傷害の発生には様々な要因があり、それらに対する適切な対策によって傷害の多くは防止できること、応急手当は傷害の悪化を防止することができることを理解できるようにする。また、包帯法やAEDの使用を含む心肺蘇生法などの応急手当ができるようにする。さらに、危険を予測し、その回避の方法を考え、それらを表現することができるようにすることがねらいである。

【生徒観】

本学級の生徒は、活発ではあるが積極的に挙手をし、発表する生徒は限られている。また、自分の考えをまとめ表現することが苦手な生徒が多い。

本市では、2018年に西日本豪雨災害を受けたことや防災教育を重点施策にし、小学校より防災教育を積み重ねていることから自然災害発生に対する生徒の意識は高い様子が見受けられるものの、自然災害に対する備えは低い様子がある。しかし、多くの生徒がこれまでの保健の授業で学習してきたことを、日常生活に活かそうとする様子が見られるため、本単元の学びに期待するところが大きいと考える。



【指導観】

本単元の指導においては、以下の4点について工夫・配慮しながら学習の定着を図りたい。

- ①交通事故や自然災害などによる傷害は人的要因、環境要因及びその相互の関わりによって発生する。
- ②交通事故などの傷害の多くはこれらの要因に対する適切な対策を行うことによって防止できる。
- ③自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、災害発生時及び発生後に周囲の状況に応じて安全に行動すること、災害情報を把握することで防止できる。また、迅速かつ適切な応急手当は傷害悪化を防止できる。
- ④応急手当の技能、傷害の防止に関する解決するための思考力、判断力、表現力等を育成する。

2 単元の目標

- (1) 傷害の防止について理解を深めるとともに、応急手当をすることができる。
- (2) 傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。
- (3) 傷害の防止について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ○交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生することを理解している。 ○交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できることを理解している。 ○自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できることを理解している。 ○応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができることを理解するとともに、心肺蘇生法などの技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○傷害の防止に関わる事象や情報から課題を発見している。 ○自他の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を考え、適切に選択し、それらを伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○傷害の防止について、課題の解決に向けての学習に自主的に取り組もうとしている。 ○自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難できることを理解し、将来の生活において健康・安全、明るく豊かで活力ある生活を営もうとしている。
中学校区で 育成を目指す 資質・能力	知識・技能	コミュニケーション力	自らへの自信

4 単元の計画（全10時間）

時	学習内容	評価規準	評価方法
1	傷害の発生要因 傷害は、人的要因や環境の要因が原因となっていることを理解する。	傷害の防止について、課題の解決に向けての学習に自主的に取り組もうとしている。【態度】	ワークシート 行動観察
2	交通事故の発生要因 中学生期に多く起こっている交通事故の現状とその原因について考え、理解する。	交通事故による傷害は、人的要因や環境要因、車両要因が相互の関わりによって発生することについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。【知識・技能】	ワークシート 行動観察

3	交通事故の危険予測と回避 危険を予測する能力を身に付け、交通事故防止について、自己の課題を見つけ、課題学習として取り組む。	傷害の防止に関わる事象や情報から課題を発見している。【思考・判断・表現】 交通事故の傷害を防止するためには、適切な対策を行うことや交通規則を遵守することなど安全行動が必要であることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。【知識・技能】	ワークシート 行動観察
4	犯罪被害の防止 犯罪被害を防止するためにどうすればよいかを理解するとともに犯罪被害を防止するための方法を考える。	犯罪被害が起こりやすい場所や場面について理解し、危険の予測に基づいて、どのように行動すれば安全なのか考えている。【思考・判断・表現】	ワークシート 行動観察
5 (本時)	自然災害による危険 自然災害による被害を防ぐためには、どうすればよいかについて理解する。	自然災害による傷害の防止について、習得した知識を自他の生活に適用したり、傷害の状態に合わせて悪化を防止する方法を見いだしたりして危険を予測し、回避する方法を考えている。【思考・判断・表現】	ワークシート 行動観察
6	自然災害による傷害の防止 自然災害から身を守るために日頃からどのような備えが必要かについて考える。	自然災害による傷害には、自他の安全を確保するために冷静かつ迅速に行動することが必要であることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。【知識・技能】 自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難できることを理解し、将来の生活において健康・安全、明るく豊かで活力ある生活を営もうとしている。【態度】	ワークシート 行動観察
7	応急手当の意義と方法 応急手当の必要性、手当の基本について理解する。	傷害が発生した際に、迅速かつ適切に手当は傷害の悪化を防止できることや応急手当には止血や患部の保護や固定があり、その方法について、理解したことを言ったり、書いたりしている。【知識・技能】	ワークシート 行動観察
8 9 10	心肺蘇生法 応急手当の一般的な流れや心肺蘇生法を、実習を通して理解する。	心肺停止に陥った人に遭遇したときの応急手当には、気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AEDの使用などの心肺蘇生法があり、その方法について、理解したことを言ったり、書いたりしているとともに、実習を通して胸骨圧迫やAEDの使用などの心肺蘇生法ができる。【知識・技能】 傷害の防止について、自他の危険の予測や回避の方法や様々な場面での選択について、他者と話し合ったり、学習カードに書いたりして、筋道を立てて伝え合っている。【思考・判断・表現】	行動観察 ワークシート 行動観察

	傷害の防止について課題解決に向けて学習に自主的に取り組もうとしている。【態度】	ワークシート 行動観察
--	---	----------------

5 本時の目標

自然災害による傷害は、地震が発生した場合の家屋の倒壊、家具の転倒などが原因となって生じることを理解し、その対策を考えることができる。

6 本時の学習展開（5時間目／全10時間）

学習活動	◇指導上の留意事項 ◆配慮が必要な生徒への支援	評価規準（評価方法）
1 挨拶 2 導入		
発問①：「15,467」この数字は、何だと思えますか。		
○資料提示：「15,467」という数字が何の数字なのか自由に意見を出し合う。（東日本大震災の被害に遭った人の人数）	◇意見を聞きながらヒントを提示していく。 ◆呉の人口を提示し、被害の大きさを考えさせる。	
3 本時の目標を確認する。		
めあて：自然災害による傷害の発生要因を理解し、その対策を考え、クラスメイトに伝えることができる。		
4 展開		
発問②：自然災害での被害や傷害にはどのようなものがあるだろう。		
○発問②について考え、付箋に記入する。（個人思考）	◇個人でじっくり考えさせる。 <被害（例）> ・タンスが倒れて、下敷きになる。 ・ガス栓の閉め忘れで火事になる。 ・ドアがゆがんで避難経路がなくなる。 <傷害（例）> ・下敷きになり、骨折する。 ・火事になり、やけどする。	自然災害による傷害の防止について、習得した知識を自他の生活に適用したり、傷害の状態に合わせて悪化を防止する方法を見いだしたりして危険を予測し、回避する方法を考えている。 【思考・判断・表現】 （ワークシート、行動観察）

<p>○個人で考えたことをグループで共有してまとめる。(グループ思考)</p>	<p>・ガラス等を踏んで、足を切る。</p> <p>◇グループでの同じ意見や似た意見をグループ化するようにさせる。</p>	
<p>発問③：グループで共有してまとめた被害や傷害を防止する対策を考えよう。</p>		
<p>○発問③について、グループで考える。(グループ思考)</p> <p>○グループでまとめた意見を発表する。(全体思考)</p> <p>5 振り返り</p> <p>○ワークシートに振り返りを書く。</p>	<p>◇グループでじっくり考えさせる。</p> <p><対策(例)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンスと天井をつっぱり棒で固定する。 ・ドア付近に家具を配置しない。 <p>◇グループの発表の中から、地震による傷害と二次災害による傷害に分けられることに気付かせる。</p>	
<p>振り返り例</p> <p>地震による傷害の発生要因が分かり、対策について考えることができた。実際に日常生活の中でできる対策をしていきたいと思う。</p>		
<p>6 振り返りの共有</p>	<p>◇保護者の方と確認することを促し、次時につなげる。</p>	